

後期前半を振り返って

中川小学校では、年に4回「学校生活アンケート」を行っています。これは、学校教育目標として「Ⅰのびやかに学ぶ子ども」「Ⅱさわやかに行動する子ども」「Ⅲしなやかに育つ子ども」の3つの観点について振り返り、次の段階へ向かっていくために行っているものです。前回の自分とくらべて「①あがった、②まえとおなじ、③さがった」のどれにあたるのかをジャッジして、今の自分の状況を知ります。そして、次に力を入れていくことをはっきりさせて生活づくりに取り組んでいってほしいと考えています。

今日の冬休み前集会では、そのアンケートの中の「後期前半、一番がんばったと『自慢できること』」の回答を基に設定した「校長特別賞」を紹介しました。タイトルは下記の通りです。中には似ているタイトルもありますが、その内容には、その人らしさが表れています。この紙面では、内容をご紹介することはできませんが、お子さんが持ち帰った「校長特別賞」を基に、後期前半のがんばりや次の目標について、ご家庭でも話し合っただけだとありがたいです。

- ◇「みんなのいいところさがしNo.1」→①A.Kさん
- ◇「気持ちよくおおきなあいさつNo.1」→①O.Nさん
- ◇「学習ようぐのじゅんぴNo.1」→①K.Kさん
- ◇「たしざんはかせパート2でNo.1」→①W.Yさん
- ◇「てきぱきとするそうじNo.1」→②A.Hさん
- ◇「ていねいな文字No.1」→②O.Rさん
- ◇「満点をめざすがんばりNo.1」→②K.Aさん
- ◇「かんがえのやりとりNo.1」→②T.Hさん
- ◇「あやとびのがんばりNo.1」→③A.Kさん
- ◇「かかりのしごとへのとり組みNo.1」→③H.Yさん
- ◇「思いをこめた大きな歌声No.1」→③W.Hさん
- ◇「ランランタイムなわとび運動No.1」→④A.Rさん
- ◇「そうじへの取りかかりNo.1」→④I.Aさん
- ◇「ニコニコ米の販売の仕事No.1」→④O.Aさん
- ◇「ニコニコ米販売チラシくばりNo.1」→④T.Sさん
- ◇「最後までねばり強く取り組んだ一人勉強No.1」
→④T.Rさん
- ◇「心をこめて仕上げた書き初めNo.1」→④H.Sさん
- ◇「しっかり取り組んだ一人勉強No.1」→④H.Nさん
- ◇「係活動への取り組みNo.1」→⑤I.Aさん
- ◇「学ぶ意欲満々の登校態度No.1」→⑤O.Sさん
- ◇「きれいな文字への意識No.1」→⑤T.さん
- ◇「みんなを笑顔にするあいさつNo.1」→⑤T.Sさん
- ◇「地域に元気を広めるあいさつNo.1」→⑤T.Hさん
- ◇「ノートづくりの工夫No.1」→⑤T.Mさん
- ◇「ノートづくりの工夫No.1」→⑤H.Kさん
- ◇「きれいな文字への心がけNo.1」→⑤Y.Rさん
- ◇「代表委員会・運営委員会の取り組みNo.1」
→⑥K.Rさん
- ◇「一人勉強の見直しと実行力No.1」→⑥S.Yさん
- ◇「授業への集中力No.1」→⑥T.Sさん
- ◇「『みんなが仲よく』への心配りNo.1」→⑥T.Mさん

今年引退したイチロー選手は、「夢・目標」について次のように述べています。

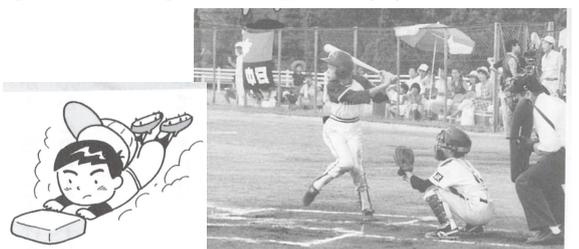
「夢や目標を達成するには1つしか方法がない。それは、小さなことを積み重ねること。」

「今、自分にできること。がんばればできそうなこと。そういうことを積み重ねていかないと、遠くの目標は近づいてこない。」

「高い目標を成し遂げたいと思うなら、常に近い目標を持ち、できればその次の目標も持っておくことです。」

「今、あなたががんばっていることは何ですか？」と尋ねられたとき、どんな小さなことでもいいから「〇〇です。」と胸を張って答えられる人でありたいものです。

中川小学校も「ラスト3ヶ月」となりました。「小さな取り組み、小さな努力の積み重ね、次へのつながり」を大切にして、少しずつ少しずつ自分を成長させていく、そんな3ヶ月にできるよう、しっかりと働きかけていきたいと思います。



← 丸数字は「学年」を表しています。

『中川小・最後のまなび-教室』・「10年間のありがとう」をこめて

12月23日（水）には、『今年度最後のまなび-教室』が行われました。この『まなび-教室』は、今から三代前の沢屋隆世校長先生（現・大曲中学校校長）の時に、学校支援地域本部が立ち上げられ、中川地域のボランティアのみなさんが、本校の教育活動により一層かかわっていただくことになったことにより、始められた教室だとうかがっています。毎年の卒業、入学の度に子どもたちの顔ぶれは、少しずつ入れ替わってきたことだと思いますが、どの年も、中川っ子に関わってくださる「まなび-教室の先生方」の温かいまなざしは、安心して学ぶ中川っ子の大きな支えでありました。

この日の閉講式では、「優しく教えてくださって、ありがとうございました。」「まなび-教室のおかげで、たくさん百点が取れました。」「中川小最後のまなび-教室、貴重な時間をありがとうございました。これからも健康でいてください。」などの子どもたちの思いをお伝えしました。先生方を代表して、大和田先生からは、「①漢字の書き順を正しく覚えましょう。」「②不注意なまちがいをしないように、ゆっくり考えましょう。小さなこと、基本的なことを大切にしましょう。」というアドバイスをいただきました。まなび-教室の安心できる雰囲気、先生方の温かい励ましの言葉かけは、中川っ子の一生の宝物です。一つ一つの活動が終わりを迎える度に、学校と中川地域のつながりの強さを改めて実感しています。みなさんの思いを、中川っ子一人一人がしっかりと引き継ぎ、次のステージでの成長につなげていきます。これまで、本当にありがとうございました。今後とも、子どもたちへの応援をよろしく願いいたします。



このような温かい場면을共有させていただくことができ、教職員一同、心から感謝しております。

『中川小・最後の冬休み』をよいよいものにするために

- ①見通しをもって。（いつ、何を、どのように。一つ上の学年に上がることを意識して。）
（大人数になっても『これができたら大丈夫』ということ意識して）



⇒ 冬休みでも、「早ね、早起き、朝ごはん」
自分のことは、自分の手で（学年に応じて）
自分の「思い」をしっかりと伝える
した方がいいこと、してもいいこと・いけないこと を考えた行動

- ②「中川っ子、中川地域の一員」の心構え。（みんなの役に立つ仕事や行動に感じる『やりがい』）
③自分の命は自分で守る。（交通、積雪・落雪、火の取り扱い、河川等の状況を考えた行動を）
④本に親しむ。（読書で心を耕す！親子で読書＝ご協力に感謝します・親子で楽しんでください！）

安全で有意義な冬休みをお過ごし下さい。そして、よいお年をお迎下さい。